



行政評価について

? 行政評価とは？

区の仕事には貴重な税金が使われており、また、区役所では多くの職員が働いています。区民の皆さんからのさまざまな要望に応えるためには、これら限りある税金や職員を有効に活用する必要があります。そのため、区では「行政評価」を実施し、施策や事業の必要性や課題を定期的に検証しています。

区では、「事務事業」（例：隅田公園オープンカフェ、(仮称) 谷中防災・コミュニティ施設の整備）を対象とした「事務事業評価」と、事務事業を大きく捉えた「施策」（例：観光資源の再発見・拡充・活用の推進、災害への総合的対応力の向上）を対象とした「施策評価」を実施しています。

? 事務事業評価はどのように行っているの？

事務事業評価は、4つの視点（必要性、効率性、手段の適切性、目的達成度）について4段階で評価を行い、今後の事務事業をどのように進めていくか表します。

必要性	区民からの要望の変化、区と民間の役割分担という視点から評価	
	4：増加している	3：大きな変化はない
	2：やや減少傾向にある	1：大幅に減少している
効率性	税金・職員などの有効活用という視点から評価	
	4：改善している	3：大きな変化はない
	2：一部改善の余地がある	1：抜本的改善を要する
手段の適切性	現在の手段が適切であるかどうかという視点から評価	
	4：適切である	3：おおむね適切である
	2：一部見直しが必要である	1：抜本の見直しが必要である
目的達成度	事業目的達成にむけて、事業が良好に進捗しているかという視点から評価	
	4：達成されている	3：おおむね達成されている
	2：一部未達成である	1：大きく下回っている

評価にあたっては、事務事業ごとに、区がどんなことをどのくらい行い、それによって区民の皆さんがどのような利益を得たのかを分析します。分析にあたっては、区が行った事務事業の量や、それによる効果を数値で示した指標を設定し、活用することにより、できるだけ区民の皆さんにわかりやすい評価となるよう努めています。

? 事務事業評価の結果は？

事務事業評価は、区が行っている事務事業を今後どのように進めていくかについて、5つの方向性（拡大、改善、維持、縮小、廃止・終了）で示しています。この結果を、来年度以降の取組みに活用していきます。

今後の方向性	考え方
拡大	事業の必要性が高く、事業効果を上げるため、より積極的に事業を行うべきもの
改善	事業実施方法や事務の改善、類似事業の統合などを行い、より効果的に事業を行うべきもの
維持	前年度と同水準・同手法で事業を行うべきもの
縮小	事業規模や活動量の見直しなどにより、より効率的に事業を行うべきもの
廃止・終了	事業を廃止すべきもの、または当初の事業目的を達成したことにより、事業を終了すべきもの

25年度の評価結果は、下記のグラフのとおりです。

